



## おかやのこどもたちへ

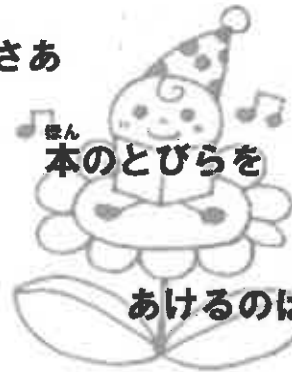
とびらのむこうの

ひろ せかい  
広い世界

とびらのむこうの

ゆた せかい  
豊かな世界

さあ



ほん  
本のとびらを

きみ  
あけるのは君！

よ きみ  
なにを読もうか まよってる君へ

きみ ま ほん  
君を待ってる本がいっぱい

子どものためのブックリスト 2012年3月

岡 谷 市



岡谷市子ども読書活動推進会議

# 絵 本

<p><b>ディビッド がっこうへいく</b>  <small>(ディビッド・シャノン さく おがわ ひとみ ひょうろんしゃ 小川 仁央 訳 評論社)</small></p>	<p><b>ディビッドみたいな子いないかな</b>  <small>いたらまわりはたいへん！でもきっと人気者かもね！</small></p>
<p><b>ふしぎなナイフ</b>  <small>(なかむら まきえ はやし けんぞう ふくだ たかよし 中村 牧江 さく 林 健造 さく 福田 隆義 え 福音館書店)</small></p>	<p><b>あれれ、ふしぎふしぎ</b>  <small>ナイフがまがる、ねじれる、おれる、われる、とける、ほどける・・・うそではありません。絵本のふしぎな世界。</small></p>
<p><b>ペレのあたらしいふく</b>  <small>(エルサ・ペスコフ さく・え ふくいんかんしよてん 福音館書店)</small></p>	<p><b>やったね、ペレ！</b>  <small>ペレはじぶんのひつじの毛をかってあたらしいふくをつくることにする。でもどうやって？</small></p>
<p><b>あめ 雨、あめ</b>  <small>(ピーター スピアー ひょうろんしゃ 評論社)</small></p>	<p><b>文字がなくてもへっちやらだよ</b>  <small>雨の庭でたくさんの発見、体験をしてみよう！</small></p>
<p><b>せんたくかあちゃん</b>  <small>(さとう わきこ さく・え ふくいんかんしよてん 福音館書店)</small></p>	<p><b>よっしゃ、まかせとき</b>  <small>たらいとせんたく板。にこにこ顔にふというでゴシゴシ。何でもかんでもあらってしまうかあちゃん。</small></p>
<p><b>いいからいいから</b>  <small>(はせがわ よしふみ えほんかん 義史 作 絵本館)</small></p>	<p><b>力をぬこう</b>  <small>目の前にかみなりのおやこがすわっていた。おじいちゃんがいった。「いいからいいからせっかくきてくださったんじゃ」</small></p>
<p><b>へんしんとびばこ</b>  <small>(あきやま ただし 作・絵 きん ほししゃ 金の星社)</small></p>	<p><b>ことばあそびを楽しもう</b>  <small>てつこさんがとぶと鉄鋼ロボットにへんしん。こげたパンがとぶと〇〇にへへんしん。ふしぎなとびばこ。</small></p>
<p><b>おばけのいちにち</b>  <small>(ちゅう しんた さく かいせいしゃ 長 新太 さく 偕成社)</small></p>	<p><b>おばけだっけいそがしい</b>  <small>おばけは明るい間、なにをしているの？だれも知らない屋間のおばけの一日をのぞいてみませんか。</small></p>
<p><b>おおきなきがほしい</b>  <small>(まとう さとる ぶん 村上 勉 え かいせいしゃ 佐藤 さとる ぶん 村上 勉 え 偕成社)</small></p>	<p><b>こんなきあつたらいいな</b>  <small>まどの外に大きな木があるといいなあと思いついたかおるくん。あたまの中で木の上に家をつくって・・・</small></p>

<p><b>おまえうまそうだな</b></p> <p>(宮西 達也 作絵 ポプラ社)</p>	<p>「ぼく、おとうさんみたいになりたい」  <small>う</small>生まれたばかりのアンキロサウルスの<small>あか</small>赤ちゃんが「おとうさん」とかんちがいしたのは、自分<small>じぶん</small>をえものとねらうティラノサウルス。</p>
<p><b>じごくのそうべえ</b></p> <p>(桂米朝 上方落語 地獄八景より)</p> <p>(田島 征彦 作 童心社)</p>	<p>ここは<small>じごく</small>地獄のなんちようめ？</p> <p>とうざいとうざい、かるわざしのそうべえ。いっせいいちだいのかるわざでござい。そうれ、べべん、べん、べん、べーん。</p>
<p><b>こいぬのうんち</b></p> <p>(クオン ジョンセン 文 チョン スカク 絵  ピョン キジャ 訳 平凡社)</p>	<p>うんちだって</p> <p>「ぼくはきたないうんち。なんのやくにもたたない」さびしくつぶやくこいぬのうんち。でもたんぼぼのめがいいです。「わたしのちからになって」</p>
<p><small>こうてい</small>  <b>皇帝にもらった花のたね</b></p> <p>(デミ 作・絵 武本 佳奈 絵 訳 徳間書店)</p>	<p><small>ゆうき</small>  <b>ビンの勇氣</b></p> <p><small>こうてい</small>皇帝が<small>くに</small>国中の子どもに<small>はな</small>花のたねをわたし、たいせつに<small>そだ</small>育てて一年後に見せにくるようにいいました。ピンが育てたたねは…</p>
<p><b>ちいさいおうち</b></p> <p>(バージニア・リー・パートン 文 絵 石井 桃子 訳  いわなみしよてん 岩波書店)</p>	<p>ちいさいおうちだけはいつもおなじでした</p> <p><small>しず</small>静かな丘に建っていた<small>ちい</small>小さな家。長い年月がたちビルの谷間で<small>くら</small>暗い日々を送るようになります。ある日…</p>
<p><b>ストライプ</b></p> <p>(デヴィッド・シャノン 文と絵 清水 奈緒子 訳  セーラー出版)</p>	<p>ほんとうのじぶんはどこに</p> <p>カミラは<small>まめ</small>リマ豆が大好き。でもぜったいに<small>た</small>食べない。なぜってみんながリマ豆をきらいだから。</p> <p>そんなカミラの<small>からだ</small>体がある日大変なことに…。</p>
<p><small>ひかり</small> <small>たび</small> <small>たび</small>  <b>光の旅かげの旅</b></p> <p>(アン・ジョナス 内海 まお 訳 評論社)</p>	<p><small>ひかり</small> <small>いったい</small>  <b>光とかげは一体だ</b></p> <p><small>そうちようい</small>早朝家を出て街へ。えっこれでおしまい？  ところが<small>ほん</small>本をさかさになると…。</p>
<p><b>ヤクーバとライオン(Ⅰ)勇氣(Ⅱ)信頼</b></p> <p>(ティエリー・デデュー 作 柳田 邦夫 訳 講談社)</p>	<p><small>ゆうき</small>  <b>ほんとうの勇氣とは</b></p> <p>ともに<small>ふか</small>深く<small>そんけい</small>尊敬する心<small>こころ</small>でむすばれた<small>しんらい</small>信頼のゆくえは。ⅠⅡ巻通して読んでみよう。</p>



わくわく  
ときどき

# さあ 読もう

<p><b>1ねん1くみ1ばんワル</b> (後藤 竜二 作 長谷川 知子 絵 ポプラ社)</p>	<p><b>ワルなんだけど</b> くろさわくんはとにかくワル。 でもぼくはどこかでくろさわくんにあこがれている?! 「1ねん1くみシリーズ」で、続きも読んでね。</p>
<p><b>へんてこもりにいこうよ</b> (たかどの ほうこ 作 絵 偕成社)</p>	<p><b>またこよう!</b> へんてこもりにはしりとりでうまれたへんてこなどうぶつがいて、たのしいことがいっぱい。</p>
<p><b>ぼくは王さま</b> (寺村 輝夫 作 和歌山 静子 画 理論社)</p>	<p><b>こんな王さまいたらいい</b> 何よりもたまごやきがすきで遊ぶことがだいすきな王さまが主人公のお話。</p>
<p><b>てぶくろをかいに</b> (にいみ なんきち ぶん わかやま けん え ポプラ社)</p>	<p><b>にんげんは...</b> 一人で町へ手袋を買いに出たこぎつね。まちがって人間の手でない方を出す。でも店の主人は...</p>
<p><b>ないたあかおに</b> (はまだ ひろすけ ぶん いけだ たつお え 偕成社)</p>	<p><b>友だちになって</b> 人間となかよくくらしした赤おに。でも人間はこわがって近よらない。友だちの青おにが、赤おにのためにしたのは...</p>
<p><b>はじめてのキャンプ</b> (林 明子 さく・え 福音館書店)</p>	<p><b>なほちゃんがんばって!</b> 小さななほちゃんも、重い荷物も持つし、ぜったい泣かないと約束して、大きい子のキャンプに連れて行ってもらうことに。</p>
<p><b>おいしいれのぼうけん</b> (ふるた たるひ さく たばた せいいち 画 童心社)</p>	<p><b>おいしいれはワンダーランド</b> けんかしておいしいれにいれられた2人の男の子が出会ったのはおそろしいねずみばあさん。せまいおいしいれのなかでつかいぼうけん!</p>



<p><b>なぞなぞのすきな女の子</b>  <small>(松岡 享子 さく 大社 玲子 絵 学研教育出版)</small></p>	<p><b>なぞなぞってたのしい</b>  森でははらぺこオオカミと出会ったなぞなぞがだいすきな女の子。うまくにげ出すことができるかな。</p>
---	--

<p><b>きいろいばけつ</b>  <small>(もりやま みやこ 作 つちだ よしはる 絵 あかね書房)</small></p>	<p><b>1週間まったよ</b>  きつねの子がみつけたきいろいばけつ。1週間まって自分のものにしてよう！でも1週間めの朝、それは……。</p>
---	---

<p><b>日本の昔話</b>  <small>(小澤 俊夫 再話 福音館書店)</small></p>	<p><b>むかしむかしあったとき</b>  どの話も声に出してよんでごらん。むかしの人たちの心がわかるよ。</p>
--	--

<p><b>エルマーのぼうけん</b>  <small>(ルース・スタイルス・ガネット さく ルース・クリスマン・ガネット え わたなべ しげお 訳 福音館書店)</small></p>	<p><b>とうさんも、かあさんも読んだ！</b>  「どうぶつ島」にとらわれているりゅうをエルマーはひとりでたすけに行く。持っていったのは……やくにたつの？</p>
---	---

<p><b>おおきな木</b>  <small>(シエル・シルバスタイン 作 村上 春樹 訳 あすなる書房)</small></p>	<p><b>木は幸せだった</b>  ちびっこりんごの木はなかよし。だいすきな少年のために与え続ける木。</p>
--	--

<p><b>ペチューニアすきだよ</b>  <small>(ロジャー デュホアサン 作 絵 乾 侑美子 訳 佑学社)</small></p>	<p><b>しみじみ笑えます</b>  森のあらいぐまは、がちょうのペチューニアのことばかり考えている。だってうまそうなんだもの。そんなあらいぐまが……。</p>
--	---

<p><b>あたまをつかった小さなおばあさん</b>  <small>(ホープ ニューウェル 作 松岡 享子 訳 山脇 百合子 画 福音館書店)</small></p>	<p><b>ゆかいゆかい</b>  どんなことが起きても、あたまをつかいかいけつしてしまうおばあさんのお話が8つ。</p>
--	---

<p><b>ふたりはともだち</b>  <small>(アーノルド ローベル 作 三木 卓 訳 文化出版局)</small></p>	<p><b>がまくんとかえるくん</b>  ちよびり身勝手だけど人のよいがまくん。どこまでも気のよいかえるくん。ふたりのほのほのホットなおはなし。</p>
--	---

<p><b>子どもに語るグリムの昔話</b>  <small>(グリム こぐま社)</small></p>	<p><b>ドイツのむかしむかし</b>  グリム兄弟があつめた64のお話。「白雪ひめ」に「赤ずきん」……。</p>
---	--

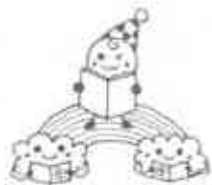


とびらのむこうの  
もっと広い世界へ！

## もっと読もう

<p><b>あらしのよるに</b> (木村裕一 作 あべ弘士 絵 講談社)</p>	<p><b>きみはだれ？</b> あらしの夜に相手がだれなのかわからずに出会ったヤギとオオカミ。あいことばを決め再会を約束して別れる。</p>
<p><b>ごきげんなすてご</b> (いとう ひろし さく 徳間書店)</p>	<p><b>おねえさんは…</b> 弟ができてすねたおねえさんはすてごになってもっといいうちをさがすけっしんを。</p>
<p><b>車の色は空のいろ</b> (あまん きみこ 著 北田 卓史 絵 童心社)</p>	<p><b>きょうのお客さんは</b> 松井さんの運転する空色のタクシーはきつねや山ねこ、くまがお客さん。変わったお客をのせて今日も松井さんは走ります。</p>
<p><b>黒ねこサンゴロウ</b> (竹下 文子 作 鈴木 まもる 絵 偕成社)</p>	<p><b>サンゴロウがかっこいい！</b> 船乗りのサンゴロウが自分を見つける旅の物語。他の登場人物も魅力的。全5巻のシリーズ。</p>
<p><b>ドングリ山のやまんばあさん</b> (富安 陽子 作 大島 妙子 絵 理論社)</p>	<p><b>ハラハラ ワクワク</b> 296さいのやまんばあさんはすごいパワーをもつ山の人気者！</p>
<p><b>龍の子太郎</b> (松谷みよ子 著 講談社)</p>	<p><b>さあ、太郎といっしょに旅に出よう</b> ともだちのあやを助け、竜になったおかあさんに会うため旅を続ける太郎</p>
<p><b>しっばいにかんぱい</b> (宮川 ひろ 作 小泉 るみ子 絵 童心社)</p>	<p><b>しっばいするから大きくなれる</b> 運動会のリレー選手だったおねえちゃん。バトンパスでしっばいしてチームはしっかく。おちこむおねえちゃんだが…。</p>
<p><b>つるばら村の大工さん</b> (茂市 久美子 作 柿田 ゆかり 絵 講談社)</p>	<p><b>つるばら村へきませんか</b> 大工の勇一さんはふしぎな男の子に出会ってから森の動物からきみような仕事をたのまれるようになる。</p>
<p><b>のはらうた</b> (くどう なおこ 作 童話屋)</p>	<p><b>だれもが詩人</b> 川も雲も池もうたいます。 のはら村のみんなが詩人。 気にいった詩は声に出して読んでね。</p>

<p style="text-align: center;"><b>はれときどきぶた</b></p> <p style="text-align: center;">(矢玉 四郎 作 絵 岩崎書店)</p>	<p><b>あしたの日記?</b></p> <p>そこに書いたウソのことが本当に起こってしまう。 まさか夕食のおかずが天ぷらだなんて。</p>
<p style="text-align: center;"><b>火よう日のごちそうはひきがえる</b></p> <p style="text-align: center;">(ラッセル・エリックソン 作 佐藤 涼子 訳 評論社)</p>	<p><b>ウォートン、ぜったいぜつめい</b></p> <p>ミミズクにつかまったヒキガエルのウォートン。 火よう日には食べられちゃう。にげ出すことはできるのかな。</p>
<p style="text-align: center;"><b>大きな森の小さな家</b></p> <p style="text-align: center;">(ローラ・インガルス・ワイルダー 作 恩地 三保子 訳 福音館書店)</p>	<p><b>明るく力を合わせて生きていく一家の物語</b></p> <p>開拓時代のアメリカ北部。両親、姉妹とくらすローラの目を通して描かれる家族の物語</p>
<p style="text-align: center;"><b>アンデルセン童話集</b></p> <p style="text-align: center;">(アンデルセン 著 大畑 末吉 訳 岩波書店)</p>	<p><b>おとぎ話とはちがう</b></p> <p>アンデルセンの世界は深い。「おやゆび姫」「みにくいアヒルの子」・・・。</p>
<p style="text-align: center;"><b>おじいちゃんの口笛</b></p> <p style="text-align: center;">(ウルフ・スタルク 作 アンナ・ヘグルト 絵 菱木 晃子 訳 ほるぷ出版)</p>	<p><b>おじいちゃんがほしい</b></p> <p>親友におじいちゃんをじまんされたベラ。 老人ホームに自分のおじいちゃんをさがしに行く。</p>
<p style="text-align: center;"><b>大どろぼうホッツエンプロッツ</b></p> <p style="text-align: center;">(オフリート プロイスラー 著 中村 浩三 訳 偕成社)</p>	<p><b>その名も高き大どろぼう</b></p> <p>ホッツエンプロッツがぬすんだのはおばあさんがたいせつにしていたコーヒーひき。カスパールたちがついせきを始める。</p>
<p style="text-align: center;"><b>シートン動物記</b></p> <p style="text-align: center;">(アーネスト・T. シートン 文・絵 今泉吉晴 訳・解説 童心社)</p>	<p><b>野生動物の知恵、勇気、やさしさ</b></p> <p>シートンがカナダの森で出会った動物を観察し、事実にもとづいて書いた動物物語</p>



**さあ あけよう**

**とびらのむこうのゆたかな世界**

# もっと もっと 読もう

<p><b>ルドルフといっぱいアツテナ</b> (斉藤 洋 作 杉浦範茂 絵 講談社)</p>	<p><b>大都会のかたすみで、2匹のねこがであってナ</b> 黒ねこルドルフは、魚屋に追いかけられ東京へ来るはめに。そこで大きなとらねこイッパイアツテナに出会う。</p>
<p><b>夏の庭—The friends</b> (湯本香樹実 作 福武書店)</p>	<p><b>「人が死ぬのを見たい」と、少年3人は</b> 6月、ぼろ家に住むおじいさんを、見はりだす。夏休み、おじいさんは、まだ生きてるし何か以前より元気みたいだ。</p>
<p><b>ハッピーバースデー</b> (青木和雄 作 加藤美紀 画 金の星社)</p>	<p><b>ママは、あすかが嫌いなのか?</b> 母と兄の言葉で声をなくしたあすかは、祖父母の愛と自然の中で心がいやされ兄ともつながっていく。けれど、母は…</p>
<p><b>ほたる館物語</b> (あさのあつこ 作 高橋 透 絵 ポプラ社)</p>	<p><b>客商売してると 隠してる顔がくりんと見える時があるんや</b> 山間の老舗旅館の小5の一子は、家族や友だちから多くのことを学んで大きくなっていく。</p>
<p><b>4TEEN</b> (石田衣良 著 新潮社)</p>	<p><b>4人一緒なら、空だって飛べるかもしれない</b> 東京月島にすむ中学生、テツロージュン、ナオト、ダイ。 14歳の僕らは今を、ぼくらしく生きている!</p>
<p><b>精霊の守り人</b> (上橋菜穂子 作 二木真希子 絵 偕成社)</p>	<p><b>ふしぎな運命を背負った《精霊の守り人》</b> 偶然チャグム皇子を救った用心棒バルサ。夏至祭に隠された秘密。 皇子を追うふたつの影は?</p>
<p><b>怪人二十面相</b> (江戸川乱歩 作 藤田新策 画 ポプラ社)</p>	<p><b>明智小五郎と少年探偵団の活躍はいかに</b> 変幻自在な噂の盗賊・怪人20面相から宝石を頂くと予告状が届いた! 名探偵と名怪盗の、初対決の幕が開く!!</p>
<p><b>ぼくのお姉さん</b> (丘 修三 著 上矢 津 絵 偕成社)</p>	<p><b>ぼくのおねえさんは、障害者です</b> 福祉作業所で働くぼくのお姉ちゃんが、今日はどうしてもレストランへ行くと言い出した。いったいなぜだろう?</p>
<p><b>二分間の冒険</b> (岡田 淳 著 太田大八 絵 偕成社)</p>	<p><b>体育館と保健室との往復2分間の冒険がはじまった</b> 6年生の悟は、黒猫ダレカを探すゲームに参加することに! それは異次元への冒険旅行のはじまりだった。</p>
<p><b>ビート キッズ</b> (風野 潮 作 講談社)</p>	<p><b>自由がきざむ、俺らのビート</b> だんじりのリズムの中で育った英二は、転校先の中学校の吹奏楽部で、さまざまな人や物との出会いをし、大きく成長していく。</p>
<p><b>12歳たちの伝説</b> (後藤竜二 作 鈴木びんこ 絵 新日本出版)</p>	<p><b>不安に満ちた12歳、大人なんてあてになんない!</b> 崩壊寸前の6年1組に、子どものような女の先生が、大きなぬいぐるみとともにやって来た。</p>
<p><b>楽園の作り方</b> (笹生陽子 著 講談社)</p>	<p><b>エリート中学生がど田舎に転居!ここが楽園?</b> 転校先には、バカ丸出しのサル男、いつもマスクの根暗女、アイドル顔負けの美女。僕の居場所はどこ?</p>



<p><b>だれも知らない小さな国</b> (佐藤さとる 著 村上 勉 絵 講談社)</p>	<p><b>あなたもきっとコロボックルに会いたくなる</b> 小学3年生の夏、ぼくはひみつの小山で、小指ほどの人たちと出会い、彼らの小さな国を知った。</p>
<p><b>エイジ</b> (重松 清 著 朝日新聞社)</p>	<p><b>ぼく14歳 同級生が連続通り魔事件の犯人だった</b> わけのわからない焦躁感や不安感を抱えながらも、中学2年の生活をおくるエイジたちのリアルな日常</p>
<p><b>水の伝説</b> (たつみや章 作 藤田新策 絵 講談社)</p>	<p><b>ぼくに届いた不思議なメッセージ</b> 川の上流の山奥に、山村留学した光太郎は、カッパ(らしい)を助けたその夜、高熱を出しふしぎな夢を見る…。</p>
<p><b>西の魔女が死んだ</b> (梨木香歩 著 小学館)</p>	<p><b>魔女の血をひくという、まいのおばあちゃん</b> 学校に行けなくなったまいは、自然の中で自給自足するおばあちゃんと規則正しい生活をおくるうちに…。</p>
<p><b>まち 都会のトム&amp;ソーヤ</b> (はやみねかおる 著 講談社)</p>	<p><b>ぼくたちは、いつだってトム・ソーヤになれる</b> 街のなかでひみつのとりでで、僕、内人と創也《トム&amp;ソーヤ》の、ステキな冒険が始まる。</p>
<p><b>きまぐれロボット</b> (星 新一 作 和田 誠 絵 理論社)</p>	<p><b>お金持ちのエヌ氏が手に入れたロボットは？</b> オールマイティと博士が自慢するロボットは、時々あばれたり、逃げ出したり。怒ったエヌ氏に博士は考えた。</p>
<p><b>銀河鉄道の夜</b> (宮澤賢治 作 岩波書店)</p>	<p><b>銀河ステーションから仲良しと旅立って</b> ジョバンニは、あこがれの友人カムパネルラと銀河鉄道の旅に出、再び大地をふんだ時、真の幸福とは何かを知る。</p>
<p><b>注文の多い料理店</b> (宮沢賢治 作 しまだむつこ 絵 借成社)</p>	<p><b>二人が入ったふしぎなレストラン</b> ある日、狩に出かけた二人の男は山の中でレストランに入った。そこで二人は次から次へと注文を…。</p>
<p><b>マヤの一生</b> (椋 鳩十 著 ポプラ社)</p>	<p><b>家族同然の犬も戦争の中では生きられなかった</b> 3人兄弟から妹のようにかわいがられたマヤ。戦争がはげしくなり、飼い犬は殺せと命令がおりた。</p>
<p><b>DIVE！！</b> (森 絵都 著 角川書店)</p>	<p><b>わずか1.4秒の空中演技 時速60キロでダイブ</b> ダイビングに励む中学生の要一と高校生の飛沫。大人たちの思惑をはらんだオリンピックへの道は？</p>
<p><b>百まいのドレス</b> (エレナ・エステス 作 石井桃子 訳 岩波書店)</p>	<p><b>わたし、うちにドレス百枚もってるの</b> いつも貧しい身なりのワンダは、クラスメイトから、からかわれ「ドレスを百枚持っている」と言ったけれど…。</p>
<p><b>若草物語</b> (オルコット 作 中山知子 訳 講談社)</p>	<p><b>戦地の従軍牧師の父、家を守るのは母と美しい四姉妹</b> 父の不在、戦争への不安、裕福な隣家の祖父孫との交流、永遠の別れ、残された姉妹は…。</p>
<p><b>宝 島</b> (R・L・スティーブソン 原作 宗田 理 文 講談社)</p>	<p><b>120年前の冒険物語に、今もドキドキハラハラ</b> ジムは、海賊の宝が隠された島の地図を手に入れ、仲間と、宝を狙う悪党と闘いながら、宝探しの航海に出る。</p>

<p><b>ロビンソンクルーソー</b> (D・デフォー 原作 伊集院静 文 講談社)</p>	<p><b>嵐にあったロビンソンは、なんとか島にたどりついた</b> 父の忠告も聞かず航海に出たロビンソンは、無人島で、自給自足の暮らで28年間を過ごしてしまった。</p>
<p><b>チョコレート工場の秘密</b> (ロアルド・ダール 作 田村隆一 訳 評論社)</p>	<p><b>金色の券はチョコレート工場への招待状</b> 世界で一番有名なチョコレート工場の近くに住む貧しいチャーリーは、一度工場を見たいと願っていた。</p>
<p><b>縞模様のパジャマの少年</b> (ジョン・ボイン 作 千葉茂樹 訳 岩波書店)</p>	<p><b>フェンスの中の少年と 軍人の息子が巡り合い</b> ベルリンから越してきた少年は、やせてうえた少年と友情をそだてるが、悲しくも衝撃的な結末を迎える。</p>
<p><b>ジュニア版 十二番目の天使</b> オグ・マンディーノ 作 坂本貢一 訳 求龍堂</p>	<p><b>短い命のティモシーからのすばらしい贈り物</b> 事故で妻と息子を亡くし失意のジョンは、少年野球チーム・エンジェルス<sup>TM</sup>の監督を引き受けることに……。</p>
<p><b>赤毛のアン</b> (L. M. モンゴメリ 著 村岡花子 訳 ポプラ社)</p>	<p><b>赤毛でそばかすの女の子が老兄妹の家に来た</b> 孤児院から男の子を望んだ農家に来た少女アンは、明るさと空想好きで、困難を乗り越え大きく成長してゆく。</p>
<p><b>ナルニア国物語</b> (C S ルイス 作 瀬田貞二 訳 岩波書店)</p>	<p><b>7つのファンタジーの世界へようこそ</b> 神秘の国&lt;ナルニア&gt;の、誕生から死滅までの 2555 年間を、壮大なスケールで描いた空想物語</p>
<p><b>点子ちゃんとアントン</b> (エーリヒ・ケストナー 作 池田香代子 訳 岩波書店)</p>	<p><b>夜の街でマッチを売る点子ちゃん、実は</b> お金持ちの家の女の子の点子ちゃんと、貧しい家の少年アントンの友情を通して、2 人やその家族模様を描く物語</p>
<p><b>長くつ下のピッピ</b> (リット・グリーン 作 大塚勇三 訳 岩波書店)</p>	<p><b>世界一強い女の子ピッピ</b> 船長のおとうさんを航海先でなくしたピッピは、隣に女の子と男と子の住む、わが家に帰り、サルと馬と暮らし始めました。</p>
<p><b>星の王子様</b> (サン＝テグジュペリ 作 内藤 濯 訳 岩波書店)</p>	<p><b>心で見なくちゃ ものごとはよくみえない</b> サハラ砂漠に不時着した飛行士は小惑星 B612 という小さな星に一人で住む男の子に出会いたくさんの物語を聞く。</p>
<p><b>十五少年漂流記</b> (J ベルヌ 原作 志水辰夫 文 講談社)</p>	<p><b>2か月間の夏休みが2年間の休暇に</b> ニュージーランド一周の予定が、思いがけず太平洋の無人島で、サバイバル生活を送ることになった15人の少年の物語</p>
<p><b>ギリシア神話</b> (石井桃子 編訳 富山妙子 画 のら書店)</p>	<p><b>神話の起こりは、中央アジア?</b> 大昔人々は、自然や生命体への驚異畏怖などからアポロン、パンドラ、トロイ戦争などの神話をうみ、それが世界中に広がった。</p>
<p><b>日本の神話</b> (赤羽末吉 絵 舟崎克彦 文 あかね書房)</p>	<p><b>日本の神話って、ファンタジーみたい</b> 日本の神話6話が、淡い色の絵本で登場。 読みやすい文、リズムカルな調子で、神話の世界を楽しもう。</p>

# 社会への目



読むことは 考えること

読むことは 学ぶこと

読むことは よりよく生きること

<p><b>キング牧師のカブよいことば</b> (ドリーン ラパポート 文 ブライアン コアー 絵 もりうち すみこ 訳 国土社)</p>	<p><b>わたしには夢がある</b> 暗殺されるまでの短い一生をアメリカの黒人地位向上に捧げたキング牧師の愛と勇気の生涯を簡潔な文体で語った1冊。</p>
<p><b>14歳からの哲学</b> (池田 晶子 著 トランスビュー)</p>	<p><b>哲学とは「存在の謎」の探究</b> 考えて知る」という観点から、言葉、家族、社会、死、性、書物などのテーマから、わかりやすく哲学を説いた1冊。</p>
<p><b>土の中からでてきたよ</b> (小川忠博 写真と文 安孫子昭二 監修 平凡社)</p>	<p><b>縄文時代を語る、土中からの贈り物</b> 遺跡から掘り出された、土器や土偶、石や木、動物の骨は、当時の人々の思いや生活を、伝えてくれる。</p>
<p><b>天と地を測った男</b> 伊能忠敬 (岡崎ひでたか 作 高田勲 画 くもん出版)</p>	<p><b>200年以上昔、現日本と変わらぬ地図を作った男</b> 50歳で天文歴学を学び、奥州、蝦夷地を初め73歳没まで、忠敬は日本の地図作りに生きた。</p>
<p><b>NHKプロジェクトX挑戦者たち</b> ジュニア版 (NHKプロジェクトX制作班 編 汐文社)</p>	<p><b>日本の戦後を創った熱い人々の物語</b> 新製品の研究開発、社会的事件、巨大プロジェクトなどの、成功の陰にあった知られざるエピソード。</p>
<p><b>永井隆</b> 平和を祈り愛に生きた医師 (中井俊巳 著 童心社)</p>	<p><b>医者として被爆者として平和を祈り生きた</b> 37歳、長崎で被爆。医師として救護活動をし、キリスト教徒として平和を訴え、献体を望み、43歳で死す。</p>
<p><b>レイチェル・カーソン</b> (上岡克己 編著 上遠恵子 編著 原強 編著 ミネルヴァ書房)</p>	<p><b>地球の美しさは生命の輝きの中にある</b> 50年も前に環境問題提起の「沈黙の春」を発表した、海の詩人・レイチェル・カーソン。</p>
<p><b>あした選挙へ行くまえに</b> (池上彰 著 河出書房新社)</p>	<p><b>君の投票で世の中が変わる！</b> 選挙は、あなたが払った税金の使い道を決める人を選ぶこと。苦勞して払った税金のムダ使いをしっかりと見はろう！</p>

<p><b>絵で読む広島原爆</b></p> <p>(那須正幹 文 西村繁男 絵 福音館書店)</p>	<p><b>昭和20年8月6日、広島に原爆が落とされた</b></p> <p>たった一発の原爆リトル・ボーイは一瞬にして街を破壊し多くの人の命を奪った。そして今もなお苦しむ人々を残している。</p>
<p><b>世界を見る目が変わる 50 の事実</b></p> <p>(ジェシカ・ウリアムズ 著 酒井泰介 訳 草思社)</p>	<p><b>いったい、どうしてこんなことに？</b></p> <p>深刻な問題も含め50の話題。思いやりと行動力があれば少数でも世界をかえられる。まず、知ることから。</p>
<p><b>「悪いこと」したら、どうなるの？</b></p> <p>(藤井誠二 著 武富健治 マンガ 理論社)</p>	<p><b>ある日、家族が殺されてしまったら</b></p> <p>自分の家族を殺され残された家族と殺した元少年の今は？ 死刑宣告は殺人者の心を聖なるものに変えられるのか。</p>
<p><b>刑務所の中の中学校</b></p> <p>(角谷敏夫 著 しなのき書房)</p>	<p><b>刑務所の中で歌う、あおげばとおとし</b></p> <p>松本市にある、世界でも例のない刑務所のなかの中学校。10代から60代の生徒が、卒業をめざし懸命に学ぶ。</p>

# 自然、科学への目



あれ？ふしぎだなあ どうしてだろう？ どうなっているの？

<p><b>ふゆめがっしょうたん</b> (富成忠夫 写真 茂木透 写真 長新太 文 福音館書店)</p>	<p><b>春を待つ木は冬の中で しっかり準備</b> 冬の木の芽は動物の顔みたい。 写真と詩でつづるファンタジックな冬の自然界。</p>
<p><b>がんばれ！！まけるな！！</b> <b>ナメクジくん</b> (三輪一雄 作絵 偕成社)</p>	<p><b>ナメクジだって、生きている！</b> 同じジメジメの中で生きてるのに、ナメクジはカタツムリより下目線。 ナメクジはカタツムリと同じ種類なのに・・・。</p>
<p><b>飛べ！「はやぶさ」</b> 小惑星探査機 60 億キロ奇跡の大冒険 (松本晋也 文 学研教育出版)</p>	<p><b>日本の高技術力を世界が再認識</b> 数々の問題を乗り越え、世界初の小惑星のかけらをもたらした「はやぶさ」の旅立ちから帰還までの感動のドラマ。</p>
<p><b>煮干の解剖教室</b> (小林真理子 文 泉田謙 写真こばやしちひろ 絵 仮説社)</p>	<p><b>煮干しの魚を解剖したら</b> カタクチイワシ。こんな小さなさかなから、生きものとしてのからだのしくみや暮らしが見えてくる。</p>
<p><b>ホネホネたんけんたい</b> (西沢真樹子 監修・解説 大西成明 しゃしん 松田素子 ぶん アリス館)</p>	<p><b>動物の、基本は骨である。</b> へび、カメ、ウサギ、リス、骨だけで組み立てられた生き物の、美しさと思いがけなさが、各ページにいっぱい。</p>
<p><b>せいめいのれきし</b> (バージニア・リー・パートン 文・え いしいももこ 訳 岩波書店)</p>	<p><b>地球の上の、すべての生き物のれきしの絵本</b> 考えられないほど大昔にうまれた太陽の光と熱のおかげで地球に命が生まれ、長い生命の歴史がはじまった。</p>
<p><b>野尻湖のぞう</b> (井尻正二 文 金子三蔵 え 福音館書店)</p>	<p><b>昔、昔、信州(長野県)にも象がいた？</b> 1948年、北信濃の野尻湖でナウマンゾウの臼歯が見つかり、多くの人が、太古の夢に挑んだ。</p>

# 岡谷ブランド

(岡谷市出身の作家や岡谷市に関連した本)

<p><b>アイウエ王とカキクケ公</b> (武井武雄 原案 三芳悌吉 文・絵 童心社)</p>	<p><b>武井武雄原案</b> ゆたかなアイウエ王国は、戦争カキクケ公国にせんりょうされてしま うが……。五十音がたくみに物語の中に配置。</p>
<p><b>おこりっぼいやま</b> (三田村信行 作 武井武雄 絵 ひさかたチャイルド)</p>	<p><b>武井武雄 絵</b> うみのそこにあったおこりんぼうのやま。どっかーんとおこってはそのか たちをかえていく。そこに住む人も動物もおかまいなしにどっかーん どっかん。</p>
<p><b>あるき太郎</b> (武井武雄 著 銀貨社)</p>	<p><b>あるこうあるこう</b> 汽車や船、自動車に飛行機、いろいろな乗物に乗ってへんてこりんで 不思議な旅をしたあるき太郎が最後に見つけたのは？</p>
<p><b>ガラスのうま</b> (征矢清 さく 林明子 え 偕成社)</p>	<p><b>すぐりのぼうけんがはじまる</b> 自分のせいで足をおったガラスの馬を追いかけてすぐりはガラスの動 物たちの世界へ。</p>
<p><b>にじいろのマガタマ</b> (小口明 文 二木六徳 絵そしえて)</p>	<p><b>ふるさとの歴史の物語</b> 諏訪湖、天竜川、弥生遺跡、岡谷の牧、そしてキツネ祭り。 豊かなふるさとの物語。</p>
<p><b>三十八人のおん柱祭り</b> (宮川ひろ 作 山中冬児 絵 ポプラ社)</p>	<p><b>イヤア 力をあわせて</b> 38人の心をのせて4年1組のおん柱がすくっと立った！</p>